

CASBEE新築(簡易版)2010年版

夏宮宗洛南学園特別校舎(仮称)

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2011
■評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.6)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 竣工段階

環境配慮設計の概要記入欄

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	共用部分 重み係数	住居・居住部分 評価点	居住部分 重み係数	全体 評価点
0 建築物の環境配慮						3.6
Q1 室内環境		3.1	0.15			3.6
1 音環境		3.0	1.00	3.0		3.1
1.1 騒音						
1 室内騒音レベル		3.4	0.40	3.0		
2 遮音		3.0	0.30	3.0		
1 開口部遮音性能		5.0	0.30	3.0		
2 界壁遮音性能		2.0	0.20	3.0		
3 床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0		
4 床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0		
1.3 吸音		3.3	0.20	3.0		3.3
2 温熱環境		3.6	0.50	3.0		
2.1 室温制御		4.0	0.60	3.0		
1 室温		3.0	0.40	3.0		
3 外皮性能		3.4	0.40	3.0		
4 ソーラ制御性能		3.0	0.30	3.0		
5 遮熱・断熱性能		4.0	0.30	3.0		
6 断熱性能(天井)		4.0	1.00	3.0		
7 断熱性能(床)		3.0	0.15	3.0		
8 断熱性能(壁)		3.0	0.25	3.0		
2.2 室温制御		4.5	0.25	3.0		4.5
2.3 空調方式		5.0	0.50	3.0		
3 光・視環境		5.0	1.00	3.0		
3.1 屋光利用		3.3	0.30	3.0		
1 屋光率		3.0	0.33	3.0		
2 方位別開口		4.0	0.30	3.0		
3 屋光利用設備		4.0	0.30	3.0		
3.2 グレア対策		4.0	1.00	3.0		
1 遮光・遮熱対策		3.0	0.15	3.0		
2 屋光制御		3.0	0.25	3.0		
3 視覚的配慮		4.5	0.25	3.0		
3.3 照度		5.0	0.50	3.0		
3.4 照度制御		5.0	1.00	3.0		
4 空気環境		3.0	0.30	3.0		
4.1 劣化汚染対策		3.0	0.33	3.0		
1 化学汚染物質		3.0	0.33	3.0		
2 大気汚染対策		3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0		
4.2 換気		5.0	0.20	3.0		
1 換気量		5.0	0.20	3.0		
2 自然換気性能		5.0	1.00	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		5.0	1.00	3.0		
4.3 運用管理		5.0	1.00	3.0		
1 CO ₂ の監視		5.0	1.00	3.0		
2 喫煙の制御		5.0	1.00	3.0		
Q2 サービス性能		3.0	0.40	3.0		3.4
1 機能性		3.0	0.40	3.0		4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0		
1 広さ・取扱い		3.0	1.00	3.0		
2 高度情報通信設備対応		5.0	0.30	3.0		
3 バリアフリー計画		5.0	0.50	3.0		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0		
1 広さ感・景観		3.0	0.30	3.0		
2 リアリティ		3.0	0.30	3.0		
3 内装計画		3.0	0.30	3.0		
1.3 維持管理		4.5	0.50	3.0		
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	3.0		
2 維持管理用機能の確保		5.0	0.50	3.0		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	3.0		2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	3.0		
1 耐震性		3.0	1.00	3.0		
2 免震・制震性能		3.0	0.33	3.0		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.23	3.0		
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.09	3.0		
2 外装仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.08	3.0		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.08	3.0		
4 空調換気システムの更新必要間隔		3.0	0.15	3.0		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	3.0		

内装仕上げは20年更新としている



2.4 信頼性		2.6	0.19	-
1	空調・換気設備	3.0	0.20	-
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-
3	電気設備	1.0	0.20	-
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-
5	通信・情報設備	3.0	0.20	-
3 対応性・更新性		3.1	0.29	3.1
3.1 空間の中とり		3.6	0.31	-
1	階高の中とり	4.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	2.0
3.2 荷重の中とり		3.0	0.31	-
3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-
1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-
2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-
3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-
4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-
5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-
6	バックアップスペース	3.0	0.22	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	3.8
1	生物環境の保全と創出	3.0	0.30	3.0
2	まちなか・景観への配慮	5.0	0.40	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.30	3.0
3.1 地域性への配慮・快適性の向上		3.0	0.50	-
3.2 敷地内温暖環境の向上		3.0	0.50	-
LR 建築物の環境負荷低減		-	-	3.4
LRI エネルギー		-	0.40	3.6
1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.30	3.0
2	自然エネルギー利用	4.0	0.20	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	4.0	0.50	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	4.0	0.50	-
3	設備システムの高効率化	4.6	0.30	4.6
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		4.6	-	-
集合住宅の評価		3.7	-	-
4 効率的運用		3.0	0.20	3.0
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	3.7
1	水資源保護	3.4	0.15	3.4
1.1	節水	4.0	0.40	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67	-
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.33	-
2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.63	3.8
2.1	材料使用量の削減	3.0	0.07	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.20	-
2.4	非鉄金属材料におけるリサイクル材の使用	5.0	0.20	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.05	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24	-
3	有害物質含有材料の使用回避	3.8	0.22	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	5.0	0.32	-
3.2	フロン・ハロンの回避	3.3	0.68	-
1	消火剤	4.0	0.33	-
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.33	-
3	冷媒	3.0	0.33	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	3.0
1	地球温暖化への配慮	3.5	0.33	3.5
2	地球環境への配慮	2.5	0.33	2.5
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-
2.2	温暖化環境悪化の改善	2.0	0.50	-
2.3	地球インフラへの負荷抑制	3.3	0.25	-
1	雨水排水負荷低減	3.0	-	-
2	汚水処理負荷抑制	4.0	0.33	-
3	交通負荷抑制	3.0	0.33	-
4	廃棄物処理負荷抑制	2.9	0.33	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.40	2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	1.00	-
1	騒音	3.0	-	-
2	振動	-	-	-
3	悪臭	-	-	-
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制		2.8	0.40	-
1	風害の抑制	3.0	0.60	-
2	砂塵の抑制	2.0	0.20	-
3	日照障害の抑制	3.0	0.20	-
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-
1	夜間照明及び駐車場照明の立ち上げに誘われる光への対策	3.0	0.70	-
2	窓の遮断形状による昼間光(グレア)への対策	3.0	0.30	-